

## 電動車いす使用に関するの留意事項

1. お出かけの前は、必ず**バッテリー残量**を確認してください。残量が少ないまま利用すると途中でバッテリーが切れて止まってしまう恐れがあります。



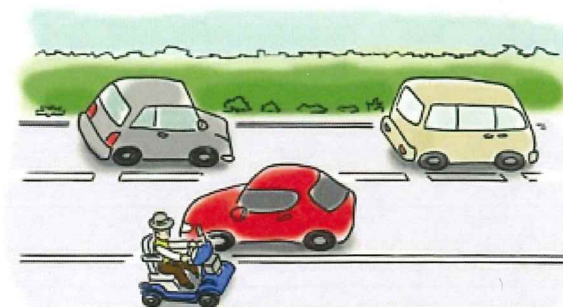
2. 電動車いすの操作や速度に慣れるためには十分な練習が必要です。初めのうちは速度を「低速」に設定し、公園などの広く安全な場所で練習をしてください。



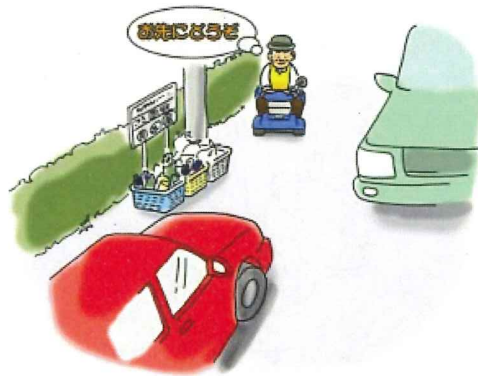
3. 歩道のある道路では、歩道を通行してください。通行するときは、歩行者や自転車に十分注意してください。



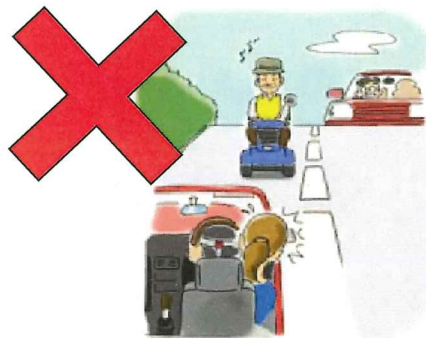
4. 歩道の無い道路では、路側帯を通行してください。(路側帯は右側通行です。)通行するときは、自動車や路肩に十分注意してください。



5. 歩道も路側帯も無い道路では、道路の右側を通行してください。通行するときは、歩行者や自転車、路肩に十分注意してください。



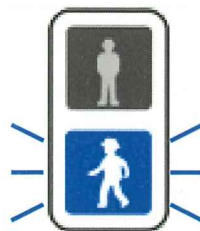
6. 道路の中央寄りには絶対に走行してはいけません。事故が起こる可能性が高く、大変危険です。必ず歩道や路側帯、道路の右側を通行してください。



7. 信号機のある交差点では、必ず信号機に従ってください。信号機が「青」でも横断中に「赤」に変わり、渡りきれないことがあります。次の「青」になるまで待ってください。



次の「青」まで  
待ちましょう

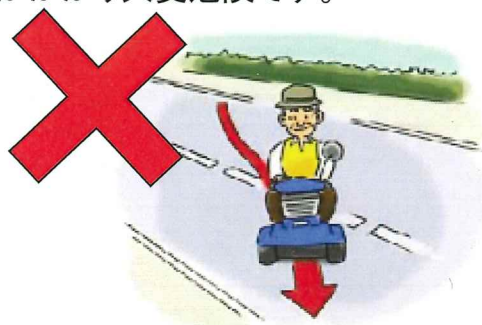


横断を始めては  
いけません



横断をしてはいけ  
ません

8. 道路を横断するときは、必ず道路に対して直角に横断してください。斜めに横断すると、道路を横断するまでに時間がかかり大変危険です。



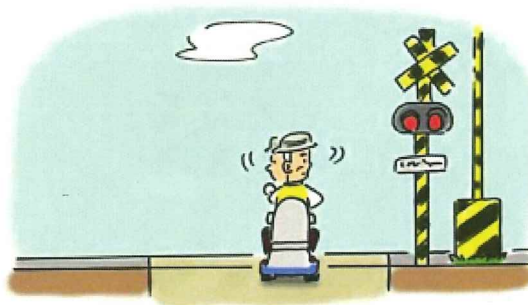
9. 電動車いすは大型車の死角(運転手から電動車いすが見えない状態)に入りやすいので、大型車の近くの通行は避けてください。また、夜間の通行も危険ですので避けてください。



10. 交差点付近では、曲がってくる自動車などに十分注意し、左右の安全を確認してから横断してください。



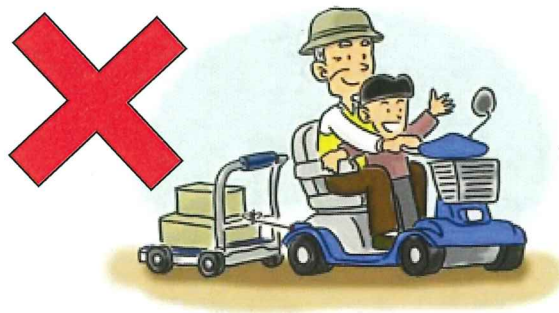
11. 踏切の手前では必ず一旦停止し、左右の安全を確認してください。踏切内を渡るときも、脱輪や線路の溝にタイヤが挟まれないようハンドルをしっかり握り、**線路に対してできるだけ直角に渡ってください。**



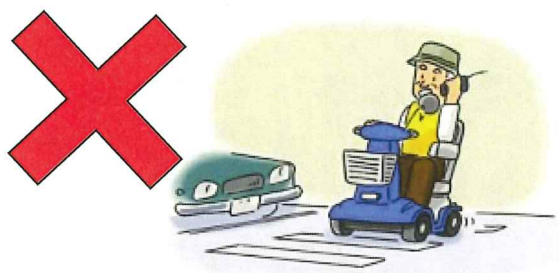
12. 電動車いすから身体を乗り出すような行為はしないでください。バランスを崩し、転倒する恐れがあります。



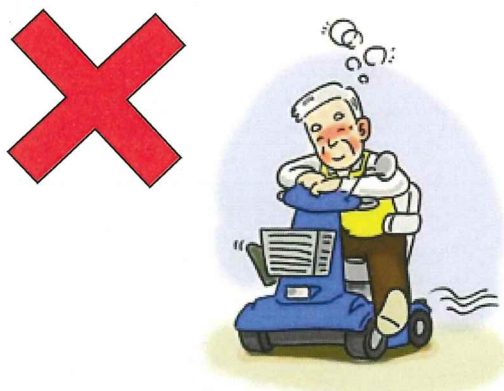
13. 2人乗りや荷物の牽引はしないでください。運転操作を誤ったり、バランスを崩し転倒する恐れがあります。



14. 走行中は携帯電話を使用しないでください。携帯電話を使用するときは安全な場所に停止し、電動車いすの電源を切ってから使用してください。



15. 少量でもお酒を飲んだときは、絶対に電動車いすを利用しないでください。運転操作を誤り事故を起こす恐れがあります。また眠気をおこす薬を飲んだ後も絶対に利用しないでください。



16. 急な坂道の通行は避けてください。転倒して怪我をする恐れがあります。通行可能な傾斜角度については、付属の取扱説明書をご覧ください。

坂道を通行するときは、上り下りともに前進で、坂道に対して**まっすぐに通行**してください。斜めに通行するとバランスを崩し転倒する恐れがあります。



17. 大きな段差の乗り越えは避けてください。転倒して怪我をする恐れがあります。  
段差を乗り越えるときは、ハンドルをしっかりと握り、**段差に対して直角に進入してください。**斜めに進入すると、バランスを崩し転倒する恐れがあります。



18. 大きな溝を渡ることは避けてください。タイヤが溝に挟まり走行不能になったり、転倒して怪我をする恐れがあります。  
溝を渡るときは、ハンドルをしっかりと握り、**溝に対して直角に進入してください。**斜めに進入すると、タイヤが挟まったりバランスを崩し転倒する恐れがあります。



19. 急な傾斜地の通行は避けてください。転倒して怪我をする恐れがあります。  
傾斜地を通行するときは、ハンドルをしっかりと握り、身体の重心を斜面の高い方へかけながら通行してください。斜面の低い方へ重心をかけると、バランスを崩し転倒する恐れがあります。



20. 以下のような場所での利用は避けるか、介助者の方と一緒に利用してください。思わぬ不具合が生じて、怪我をしたり走行できなくなる恐れがあります。

- ・雨や雪が降っているとき
- ・ぬかるみのある場所
- ・凸凹の激しい場所
- ・深い砂利道
- ・凍結している道路や雪道
- ・風が強かったり霧が深い日
- ・エスカレーター
- ・夜間
- ・防護柵の無い側溝や路肩付近
- ・交通量の多い場所
- ・混雑している場所
- ・幅の狭い場所

